

憲法いかす政治を！

武力で平和はつくれない！
守ろう！ 平和・いのち・くらし

5月3日の憲法記念日に、平和や戦争を考える集会など、様々なイベントが日本各地で開催された。
全国港湾は、東京の有明防災公園の集会に、陸・海・空・港湾20労組の一員として、各単組と京浜3港代表を中心に30余名ほどが参加した。

今年で10周年を迎えた2024／憲法大集会は「武力で平和はつくりたくない」と護憲派の野党幹部も出席し、立憲民主党の逢坂誠を「のメインスローガン」の二代表代行は、法律を犯しているかもしれない裏金議員の方々に憲法の議論をする正当性はあるのかと指摘した。共産党の田村智子委員は、武力で平和は守れぬと批判し、戦争の放棄を定めた憲法9条に基づき、対話を行うことが重要だと訴えた。社民党の福島瑞穂党首は、憲法改

正ではなく、憲法を生かしていることを呼びかけた。
ブラカード・アピールでは、参加した多くの市民、3万2000人（主催者発表）が「憲法をいかす政治を！」「守ろう！平和・いのち・くらし」・「武力で平和はつくりたくない」のプラカードを一齐に掲げた。



今年で10周年を迎えた2024／憲法大集会は「武力で平和はつくりたくない」と護憲派の野党幹部も出席し、立憲民主党の逢坂誠を「のメインスローガン」の二代表代行は、法律を犯しているかもしれない裏金議員の方々に憲法の議論をする正当性はあるのかと指摘した。共産党の田村智子委員は、武力で平和は守れぬと批判し、戦争の放棄を定めた憲法9条に基づき、対話を行うことが重要だと訴えた。社民党の福島瑞穂党首は、憲法改



5月1日（水）横浜赤レンガプラットホームにて、港湾メーデーを開催しました。今年も、天気状況が悪いとの予報の中で、どの程度の参加者が集まるか心配されましたが、各単組の取り組みによって、全体で467名の参加者で集う横浜港



大港労組は昨年まで大阪港を船で回る「大阪海上メーデー」を開催してまいりました。しかし本年は船の準備が出来ず、組織内で検討したところ、今年は大阪城公園「太陽の広場」で開

第29回横浜港メーデー

いま世界は、ロシアのウクライナへの侵攻、イスラエルのカザ地区への侵攻や北朝鮮など不安定な動きなどもあり、安全保障への不安や戦争への不安など、様々な世論が国内を取り巻いている。

岸田首相は、改憲派の集

会にビデオメッセージを寄せ、憲法改正は先送りできない重要な課題と訴え、党派を超えて連携しながら、議論を行う姿を国民の皆様

の誠意の無い対応に対し、今後も組合員と共に奮闘し、組合員全体で今春闘を頑張りが続くことが述べられました。

来賓として神奈川交通労働、国民春闘共闘、かながわ労働センター、横浜市港湾局長より挨拶をいただきました。政党内の立憲民主党、日本共産党、社会民主党の代表者より挨拶をいただきました。メーデースローガン「港に働く者の団結」書記長 荒井一美



このように憲法改正発議の環境が整いつつある今、日本国憲法が制定されて77年、平和憲法をこの先も守り続けていくのか、戦争をする国へと変えていくのか「この国のかたち」について真剣に向き合い、議論を深めていくことが求められている。

腎臓疾患を引き起こした紅麹サプリメントの被害が深刻なものになっている。なぜ、そのような事態になったのか。また、防止策はなかったのか。そのサプリメントは「機能性表示食品」という食品表示法上の食品群の一つで、製造元が安全性を証明しな

で、将来展望が見出せる賃金・職場環境をつくらう」と合わせてメーデー宣言文が力強く読み上げられ、大きな拍手のもと採択され閉会しました。デモ行進は残念ながら、悪天候の為中止となりました。（全横浜港湾・書記長 荒井一美）

大港労組は昨年まで大阪港を船で回る「大阪海上メーデー」を開催してまいりました。しかし本年は船の準備が出来ず、組織内で検討したところ、今年は大阪城公園「太陽の広場」で開

催される「第95回大阪地方メーデー」に参加することになりました。当日は早朝から生憎の雨模様で、足元の悪い中での開催となりましたが、大港労組各支部役員約40名の仲間と共に、約3万7000名の労働者が集う「労働者の祭典」に参加し親睦を深めました。（大港労組書記長・赤松和吉）